



## もくじ

●はじめに	2
●安全上のご注意	3
●使用上のご注意	7
●コンパクトディスクについて	9
●付属品について	11
●フロントパネルの機能	12
●リアパネルの機能	15
●演奏の仕方	17
●リモートコントロールユニット	18
●TIME 表示について	20
●プログラム再生	21
●リモコン使用上の注意	23
●本機のご使用で特に注意いただきたいこと	24
●お手入れの仕方	24
●保証とアフターサービス	25
●主な仕様	27

## はじめに

この度は CEC CD プレーヤー CD3800 をご購入いただき誠にありがとうございます。本機の特徴を正しくご理解いただき、末永く安全にお使いいただくために、ご使用前にこの取扱説明書をご一読くださるようお願い申し上げます。外装箱や梱包材は再輸送の際に必要ですので、取扱説明書と一緒に大切に保管してください。

### 本機の特徴

- 本機はデジタルサーボシステムを搭載し、安定的な回転とジッターの少ない信号の読み取りを実現したハイコストパフォーマンス CD プレーヤーです。
- デジタル／アナログ変換部には、24bit/192kHz の高級 DAC (Burr-Brown PCM1798) 採用。外部からのデジタル音楽信号を入力し、アナログ変換できますので、CD プレーヤーとしてだけでなく、D/A コンバーターとしてもご使用いただけます。
- PC からのデジタル音楽信号の入力を可能にする USB 端子を装備。
- デジタルフィルターは標準型とパルス最適型の切り替えが可能です。
- デジタル／アナログ変換回路はすべてバランス / 最短設計。通常の RCA 出力に

加えてバランス出力（XLR 端子）を備えていますので、フルバランス設計のアンプと組み合わせてご使用になることで、高音質再生をお楽しみいただけます。

- フィードバック回路を使用せず DAC の出力電流を電圧に変換する独自の「カレント・インジェクション」、アナログ回路には音楽信号に影響を及ぼすネガティブフィードバック回路を全く持たない LEF（Load Effect Free）回路採用により歪みの少ないクリアな再生音を実現しています。
- ピュア A クラスのヘッドフォンアンプ装備で高品位のヘッドフォン（推奨 32 Ω）による再生を楽しめます。

## 安全上のご注意

製品を安全にお使いいただくため、ご使用前に必ずお読みください。

### 絵表示について

この取扱説明書には、いろいろな絵表示が記載されています。これらは、製品を安全にお使いいただき、人への危害や財産への損害を未然に防止するための表示です。記号の意味をよくご理解の上、本文をお読みください。

#### 記号の意味



**警告**

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、火災や感電などによって、死亡または重傷を負う可能性があります。



**注意**

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、感電やその他の事故によって、ケガをしたり、周辺の家財に損害を与える可能性があります。

#### 注意を促す記号



一般的な注意



感電注意

#### してはいけない行為（禁止行為）を示す記号



禁止



分解禁止

必ずしてほしい行為（強制、指示行為）を示す記号



電源プラグを  
コンセントから抜く



一般的な強制



**警告！**

万一、次のような異常が起きたら ...

- ・煙が出たり、変なおいや音がする。
- ・機器の内部に異物や水が入った。
- ・落したり、キャビネットを破損した。



すぐに機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

異常状態のまま使用すると、火災、感電の原因となります。  
販売店または当社サービスセンターに修理をご依頼ください。

- ・電源ケーブルを傷つけない。
- ・電源ケーブルの上に重いものをのせたり、ケーブルを本機の下敷きにしない。
- ・電源ケーブルを加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしない。



ケーブルが破損すると、火災、感電の原因となります。万一、電源ケーブルが傷んだら（心線の露出、断線など）、販売店または当社サービスセンターに交換をご依頼ください。

- ・電源プラグにほこりをためない。

電源プラグとコンセントの間にゴミやほこりが付着すると、火災、感電の原因となります。電源プラグを抜いてから、ゴミやほこりを取り除いてください。

- ・機器の上に花瓶や水などが入った容器を置かない。  
内部に水が入ると、火災、感電の原因となります。



## 警告！



・表示された電源電圧（交流 100 ボルト）で使用する。  
この機器を使用できるのは日本国内のみです。表示された電源電圧以外では使用しないでください。火災、感電の原因となります。



・この機器のカバーは絶対に外さない。  
カバーを開けたり改造すると、火災、感電の原因となります。内部の点検、修理は販売店または当社サービスセンターにご依頼ください。



・この機器のカバーを開けたり、内部に手を入れない。  
この表示部分に手を近づけたり触れたりすると、感電やけがの原因となります。



## 注意！



・この機器を設置する場合は、放熱をよくするために、他の機器との間は 15cm 以上離して置く。  
内部に熱がこもり、火災の原因となります。



・ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に置かない。  
・湿気やほこりの多い場所に置かない。  
・調理台や加湿器のそばなど、油煙や湯気があたる場所に置かない。  
火災、感電やけがの原因となることがあります。

・電源コードを熱器具に近づけない。  
コードの被ふくが溶けて、火災、感電の原因となります。

・電源プラグは、異常が発生した時にすぐに抜けるような場所にあるコンセントに差し込んでください。



- ・濡れた手で電源プラグを抜き差ししない。

感電の原因となることがあります。

- ・電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らない。コードが傷つき、火災、感電の原因となることがあります。必ずプラグを持って抜いてください。
- 



- ・旅行などで長期間この機器を使用しないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜く。

- ・お手入れの際は安全のため、電源プラグをコンセントから抜く。

感電の原因となることがあります。

- ・移動させる場合は、電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜く。

コードが傷つき、火災、感電の原因となることがあります。

## 使用上のご注意

### 1. 他の機器と接続するとき

他の機器と接続するとき、または接続を外すときは、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。電源コードは大切にお使いください。特に、コンセントから外すときは、必ずプラグを持って抜いてください。

### 2. 本機の電源を入れるとき、切るとき

- ・電源を入れるときは、本機の電源を先に入れて約5秒後にリレースイッチがカチッと動作してから、アンプの電源を入れてください。
- ・電源を切るときは、アンプの電源を切ってから本機の電源を切るようにしてください。

※本機の電源を入れたり切ったりするときに発生する微小ノイズがアンプで増幅されて、スピーカーや他の機器を破損するおそれがあります。ご注意ください。

### 3. 電源電圧は AC100V

本機は AC 電源 100V ~ 240V で使用できるよう設計されていますが、付属の電源コードは日本国内用ですから、定格電圧 100V でご使用ください。

### 4. 光学式ピックアップ（半導体レーザー）

光学式ピックアップは、CD プレーヤーの性能を決める重要な部分のひとつです。レンズ部分に指などで触れないようにしてください。レンズの表面をきれいに保つために、ご使用にならないときは、CD トレイを閉めておいてください。

### 5. 取り扱いはていねいに

スイッチやつまみ、CD トレイ、キャビネットなどに無理な力を加えることは避けてください。

### 6. 設置場所について

音質や性能を最大限に発揮させるためにも、オーディオ専用ラックを使用されることをお奨めいたします。

次のような場所で長時間ご使用になりますと、音質の悪化や故障などの原因となります。ご注意ください。

- ・窓際など直射日光の当たる場所や、暖房器具のそばなど極端に暑い場所（周囲温度 35℃以上）、または温度の特に低い場所（周囲温度 5℃以下）では、製品の正常な機能を維持できない場合がありますので避けてください。

- ・湿度の多い場所（湿度 90% 以上）では金属部分にサビが生じたり故障の原因となります。

・ほこりの多い場所はスイッチなどの接触不良や雑音等の発生原因になり、性能を損なうことがあります。

・その他、トランスやモーターの近くの設置は誘導ハムを拾う原因となりますので、離して設置してください。また、振動の多い場所も避けてください。

### 7. 水に濡れたら

万一雨が降ったり、花びんなどの水を本機にこぼしたときは、すぐに電源プラグを抜いて販売店にご連絡ください。この状態で電源を入れた場合、感電の恐れもあり危険です。また故障の原因となりますのでご注意ください。

### 8. 落雷に対する注意

落雷の恐れのあるときは、早めにコンセントから電源プラグを抜いてください。

### 9. 結露現象について

冬期などに本機を戸外から暖房中の室内に持ち込んだり、本機を設置した部屋の温度を暖房などで急に上げたりすると結露が生じ、製品の性能が十分引き出せなくなることがあります。

このような場合は、結露の程度にもよりますが、1～2時間そのまま放置し、本機を室温に保つようにしてください。結露は徐々になくなります。

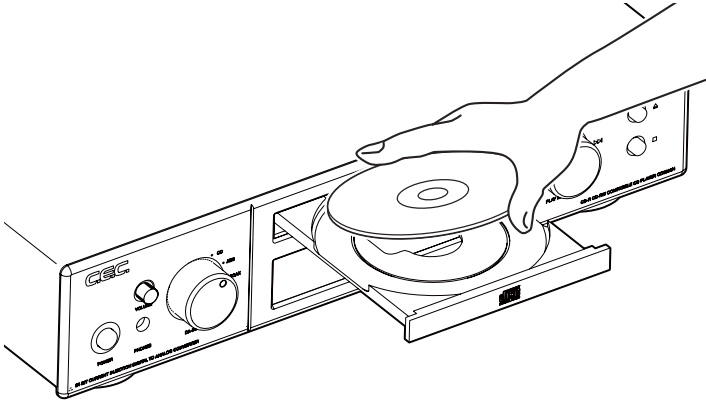
### 10. 演奏を聴くエチケット

音量は他の人や近隣の迷惑にならないように気を配り、お互いの快い生活環境を乱さないように十分注意しましょう。

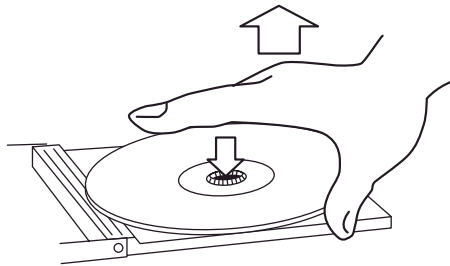


## コンパクトディスクについて

●ディスクは、必ずレーベル面を上にして少し先端を下げてもセットしてください。

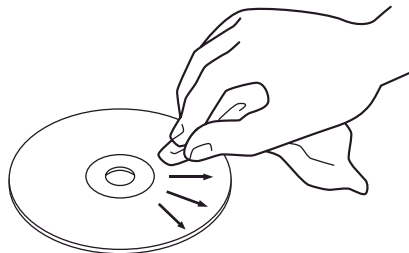


●ディスクをケースから取り出すときは、ケースの中心を押しながら、ディスクの外周部分を手ではさむように持ってください。

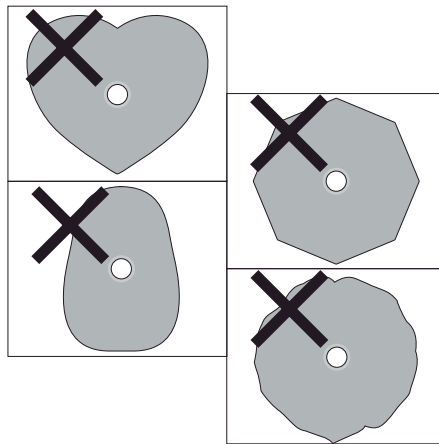


●信号録音面（レーベルがない面）に傷、指紋、汚れなどがあると、再生時にエラーの原因となることがありますので、お取り扱いにはご注意ください。

●信号録音面に汚れが付着した場合は、柔らかい布で内側中心から外側へ直角方向に軽く拭いてください。ディスクはいつもきれいに清掃して保管してください。



- レコードクリーナー、帯電防止剤、ベンジン、シンナーなどで絶対に拭かないでください。これらの化学薬品で表面が侵されることがあります。
- 直射日光が当たる場所や、高温多湿の場所には放置しないでください。
- 使用後のディスクは、必ずケースに入れて保管してください。そのままディスクを放置するとそりやキズの原因となります。
- ディスクにはラベルなどを貼らないでください。ディスクにセロハンテープやレンタルCDのシールなどをはがしたあとがあるもの、またシールなどから糊がはみ出ているものは使用しないでください。そのまま本機にかけると、故障の原因となることがあります
- ヒビが入ったディスクは使用しないでください。
- ハート形や八角形など特殊形状のCDは、機器の故障の原因となりますので使用しないでください。



#### CD-R/RW ディスクの取り扱い

- 本機はファイナライズ済みの CD-R/RW の再生にも対応しています。
- ディスクのレーベル面に何か書き込むときは、油性のフェルトペンをお使いください。ボールペンなど、先端の固いペンを使うと、ディスク面を傷つけて再生ができなくなる場合があります。

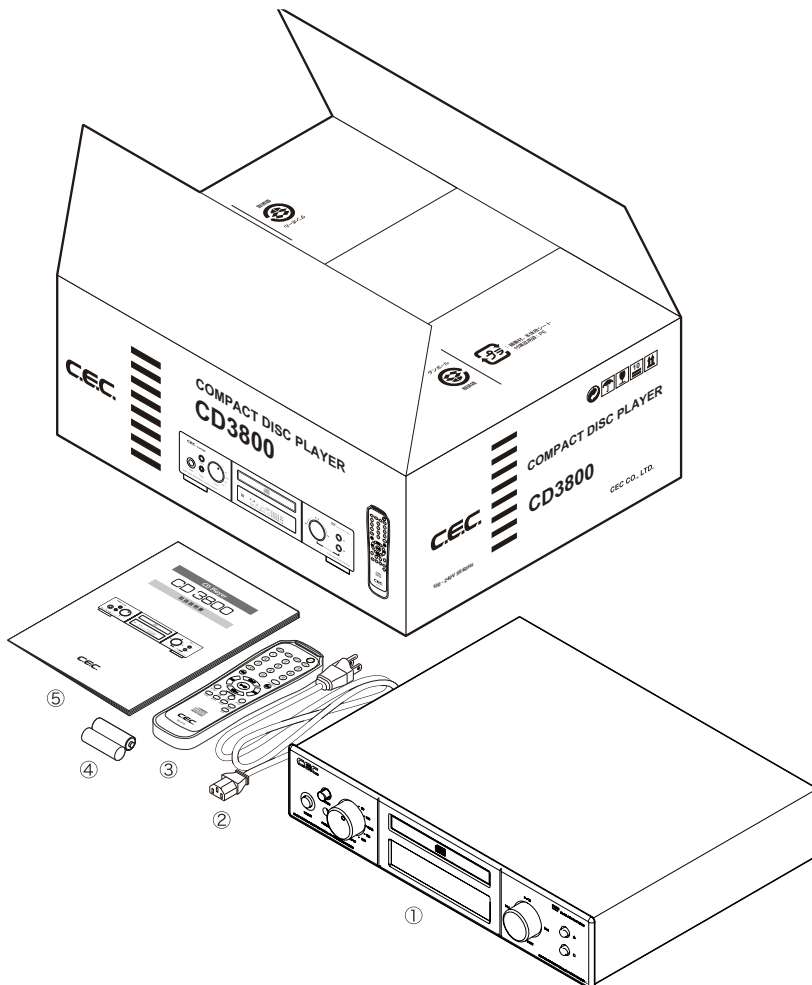
## 付属品について

CD3800 の外装箱の中には次の物が入っています。  
最初にご確認ください。

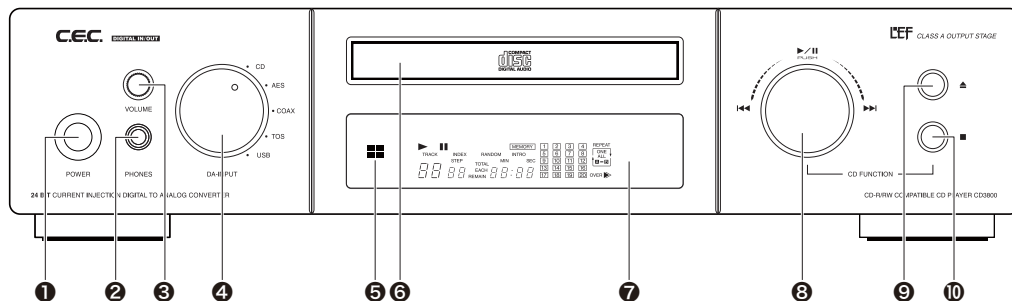
1. CD3800 本体
2. 電源ケーブル
3. リモコン
4. リモコン用単 4 形乾電池 (2 本)
5. 取扱説明書
6. 保証書 (外装箱に添付)

※外装箱や梱包材は再輸送の際に必要ですので、取扱説明書と一緒に大切に保管してください。

※付属の電源ケーブルは本機専用です。他の機器には使用しないでください。



## フロントパネルの機能



### ① POWER スイッチ

電源スイッチです。

POWER スイッチを押すと、本機に電源が入り、スイッチボタンの周りのインジケーターが青く点灯します。POWER スイッチをもう一度押すと電源が切れます。

電源を入れると "00 -- --" が点滅し、CD の有無を確認します。約 5 秒後に CD がセットされていない場合は "no disc" および 1~20 までのすべての曲番号がミュージックカレンダー (P.14 ⑦⑩参照) に表示され、CD がセットされている場合には、総曲数と総演奏時間、および曲番号が表示されます。

※電源を入れてから約 5 秒後にアナログ信号出力用リレースイッチが動作します。このとき、わずかにカチッと音がします。アンプのボリュームを上げているとこの音が増幅されてスピーカーから聞こえることがありますので、5 秒経ってからアンプの電源を入れるか、ボリュームを上げるようにしてください。

### ② ヘッドフォン用出力端子

標準 (6.3mm) ジャック付ヘッドフォン用出力端子です。

※ステレオミニジャック付ヘッドフォンをご使用の場合は、市販の標準ジャック/ステレオミニジャック変換アダプターをご使用ください。

### ③ ヘッドフォン用ボリュームコントロールつまみ

ヘッドフォンの音量を調節するつまみです。右へ回すと音量が大きくなり、左へ回すと小さくなります。

※ヘッドフォンを使用する際には、ボリュームコントロールで音量を最小にしてからヘッドフォンを装着してください。音量が大きいまま装着しますと、音圧によって耳を痛める可能性がありますのでご注意ください。

### ④ デジタル入力セレクター

デジタル入力ソースの切り替えスイッチです。本機内部の CD トランスポート、AES/EBU、COAXIAL (RCA)、TOSLINK、USB の 5 系統の入力を切り替えて使用できます。選択された入力信号は D/A 変換されてアナログ出力されます。

## ⑤ リモートセンサー

リモコンからの信号を受けるセンサーです。リモコンを正しくセンサーの方向に向けて操作してください。リモコンとセンサーの間に障害物があると正しくリモート操作が機能しないことがありますのでご注意ください。

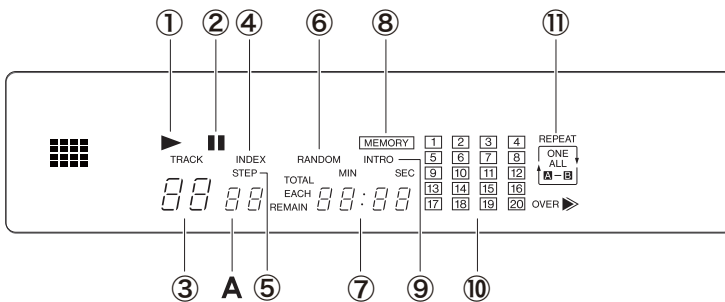
## CD ファンクション部

### ⑥ CDトレイ

CDをセットするトレイです。CDトレイ開閉ボタンを押すと開き、もう1度押すと閉まります。トレイが開いているとディスプレイには"OPEn"と表示されます。

### ⑦ ディスプレイパネル

CDをセットした状態で、総トラック数、総演奏時間、CD演奏中は、トラック番号、インデックス、曲の演奏経過時間、演奏中の曲番号(点滅)が表示されます。(ディスプレイはCDに関する表示のみを行います。外部接続機器からのデジタル信号入力やD/A変換に関する表示はありません。)



#### ①▷ プレイインジケータ

プレイモードで点灯します。

#### ②|| ポーズインジケータ

ポーズ(一時停止)モードでオレンジ色のインジケータが点滅します。

#### ③トラックナンバーディスプレイ

演奏中のトラック番号を表示します。

#### ④INDEX インデックスインジケータ

曲をいくつかに分けて番号をつけた「インデックス」が、CDの曲に入っているとき点灯し、Aに演奏中の該当インデックス番号を表示します。(インデックスが記録されていない曲を演奏した場合は、「1」を表示します。)

**⑤ STEP ステップインジケータ**

プログラム再生モードで点灯し、Aに曲順を表示します。

**⑥ RANDOM ランダム演奏インジケータ**

リモコンのSHUFFLEボタンでランダム演奏するときに点灯します。

**⑦ タイムディスプレイ**

停止中には総演奏時間 (TOTAL) 表示、演奏中には、曲演奏経過時間 (EACH)、曲残量時間 (EACH REMAIN)、総残量時間 (TOTAL REMAIN) を表示します (表示の切り替えはリモコンで行います)。

**⑧ MEMORY メモリーインジケータ**

プログラム再生モードで点灯します。

**⑨ INTRO イントロモードインジケータ**

イントロサーチ演奏中に点灯します。

**⑩ ミュージックカレンダー**

演奏中の曲番号が点滅します。20曲を越えると"OVER"の表示に変わります。演奏が終了した (あるいは演奏を飛ばした) 曲番号は消灯します。

**⑪ REPEAT リピートモードインジケータ**

リピートモード (ALL/ONE/A-B) で点灯します。

※⑤⑥⑦⑧⑨⑪について詳しくはP.18「リモートコントロールユニット」をご参照ください。

**⑧ ▶ / II (PLAY/PAUSE)、◀ (FB) ・ ▶▶ (FF) つまみ**

CD演奏の開始、一時停止、曲送り/曲戻しスイッチです。

つまみを押すとCDの演奏が始まり、もう1度推すと一時停止します。

※CDトレイを開いたままつまみを押すと、トレイが閉まって演奏開始します。

演奏中または停止中に、曲をスキップするにはつまみを回します。右に回すと先の曲に進み、左に回すと前の曲に戻ります。

※右に1クリックで1曲進み、左に1クリックで演奏中の曲の先頭へ、2クリックで前の曲へ戻ります。

**⑨ CDトレイ開閉ボタン (▲)**

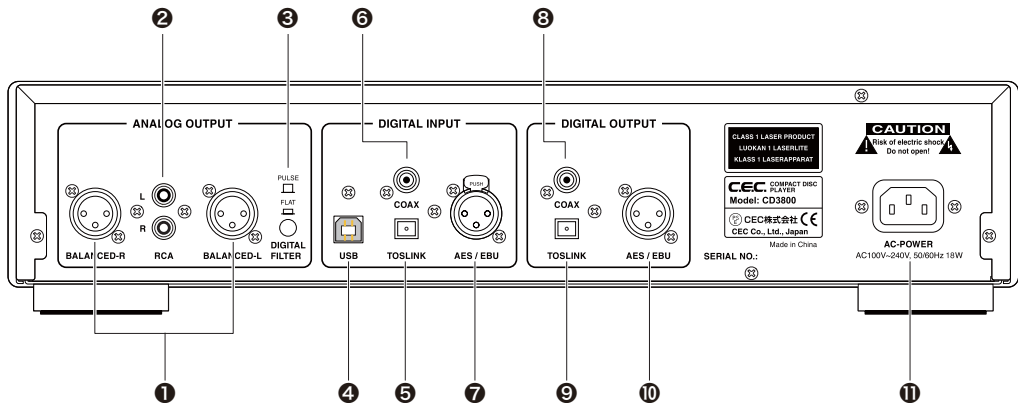
CDをセットする時と、取り出す時に使用するCDトレイ開閉ボタンです。ボタンを押すと、トレイが開き、もう1度押すと閉まります。演奏中に押すと演奏をストップしてCDトレイが開きます。

※ボタンを押してからトレイが閉まり始めるまでに1秒ほどかかります。2度押しにご注意ください。

**⑩ STOP ボタン (■)**

演奏を停止するときに押します。

## リアパネルの機能



### アナログ出力

#### ① XLR (バランス) 出力端子

バランス型 XLR 出力端子です (1=GND、2=Hot、3=Cold)。

AMP3800 などのバランス型入力端子を備えたアンプとバランスケーブルを使用して接続します。バランス回路設計された本機の性能を十分に引き出すには、バランス接続のご使用をお勧めします。

#### ② RCA (アンバランス) 出力端子

標準的なアンバランス型 RCA 出力端子です。RCA ケーブルを使用してアンプと接続します。

#### ③ DIGITAL FILTER スイッチ

デジタルフィルターの切替ができます。FLAT を選択すると周波数特性上は最適となります。PULSE を選択すると音場の広がりや音のダイナミック感を増すことができます。

### デジタル入力

#### ④ USB

ハードディスクドライブにリッピングした音楽などを再生するパソコンから入力するための接続端子 (USB1.1 対応) です。サンプリング周波数は 32kHz-48kHz に対応しています。

#### ⑤ TOS LINK (OPTICAL)

光デジタル入力端子です。サンプリング周波数は 32kHz ~ 96kHz に対応しています。

TOS LINK 光デジタル出力端子を搭載したデジタルオーディオ機器と接続します。光（オプティカル）ケーブルをご使用ください。

#### ⑥ COAXIAL

RCA 型デジタル入力端子です。サンプリング周波数は 32kHz ~ 96kHz に対応しています。COAXIAL（RCA 型）出力端子を搭載したデジタルオーディオ機器と接続します。75 Ω のケーブルをご使用ください。

#### ⑦ AES/EBU（バランス）

バランス型デジタル入力端子です。サンプリング周波数は 32kHz ~ 96kHz に対応しています。AES/EBU（XLR）出力端子を搭載したデジタルオーディオ機器と接続します。110 Ω のケーブルをご使用ください。（1=GND、2=Hot、3=Cold）

### デジタル出力

#### ⑧ COAXIAL

RCA 型デジタル出力端子です。  
COAXIAL（RCA 型）入力端子を搭載したデジタルオーディオ機器と接続します。  
75 Ω のケーブルをご使用ください。

#### ⑨ TOS LINK（OPTICAL）

光デジタル出力端子です。  
TOS LINK 光デジタル入力端子を搭載したデジタルオーディオ機器と接続します。  
光（オプティカル）ケーブルをご使用ください。

#### ⑩ AES/EBU（バランス）

バランス型デジタル出力端子です。  
AES/EBU（XLR）入力端子を搭載したデジタルオーディオ機器と接続します。  
110 Ω のケーブルをご使用ください。（1=GND、2=Hot、3=Cold）

#### ⑪ AC LINE

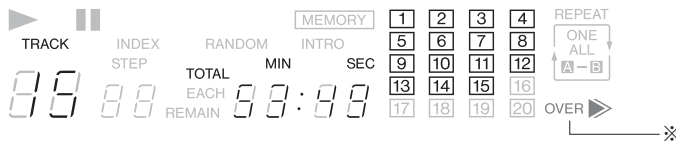
付属の電源ケーブルと接続してください。



## 演奏の仕方

### 通常演奏

- ① POWER スイッチを押して電源を入れます。
- ② デジタル入力セクターで CD を選択します。
- ③ CD トレイ開閉ボタン (▲) を押し、CD トレイを開きます。
- ④ ディスクのレーベル面を上にして CD トレイにディスクを乗せます。
- ⑤ 再び CD トレイ開閉ボタンを押し、CD トレイを閉めます。
- ⑥ ディスクの情報を読み込んでいる間、ディスプレイに "00 -- --" が点滅し、そのあと総トラック数と総演奏時間が表示されます。



※総トラック数が 20 曲を越えると右下に "OVER" が表示されます。

- ⑦ PLAY/PAUSE (▶/||) つまみを押しと演奏が始まります。ディスプレイにプレイインジケター (▷)、トラック番号、インデックス番号、演奏経過時間が表示され、右側のミュージックカレンダーで演奏中の曲番号が点滅します。



※演奏が終了した曲番はミュージックカレンダーから消去されていきます。

### ●曲を前後にスキップするとき

演奏中に PLAY/PAUSE つまみを ▶▶ の印のある方向 (右) に 1 クリック回すと次の曲にスキップします。◀◀ の印のある方向 (左) に 1 クリック回すと演奏中の曲の頭に、続けてもう 1 クリック回すと前の曲にスキップします。複数曲スキップする時は、スキップしたい回数だけ回します。

### ●一時停止するとき

PLAY/PAUSE つまみ (▶ / II) を押します。

もう一度押すと再び演奏を始めます。

### ●演奏を停止するとき

STOP ボタン (■) を押します。

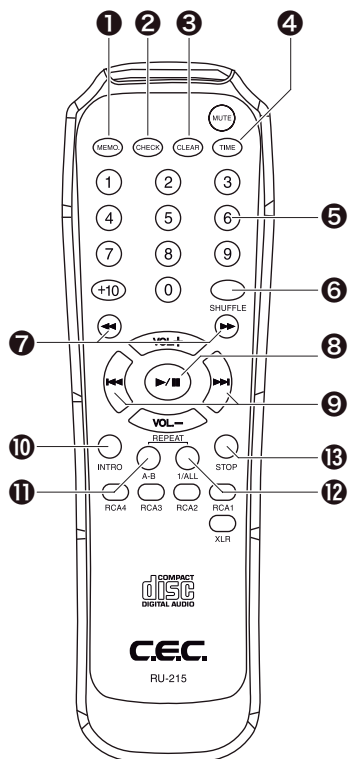
※ STOP ボタンを押さずに CD ドアを開いた場合も、演奏が自動停止します。

### ●ディスクを取り出すとき

CD トレイ開閉ボタン (▲) を押します。

※演奏終了後や、本機を移動させる際には、ディスクは取り出しておいてください。

## リモートコントロールユニット



### ① MEMO. (メモリー) ボタン

聴きたい曲を聴きたい順にメモリーするときに使用します。

### ② CHECK (チェック) ボタン

プログラムした演奏曲と順番を確認したいときに押します。

### ③ CLEAR (クリアー) ボタン

プログラムした曲を取り消したいときに押します。

※①～③についての詳細は 21 ページ「プログラム再生」の項をご参照ください。

### ④ TIME (タイム) ボタン

タイム表示を切り替えます。

※詳細は P.20 「TIME 表示について」の項をご参照ください。

### ⑤ テンキー

聴きたい曲をダイレクトに選択できます。また、曲をプログラムするときに使用します。

※ 10 曲目以降は、+10 を押してから 0-9 を押します。20 曲目以降は +10 を 2 回押した後、0-9 を押します。

### ⑥ SHUFFLE (シャッフル) ボタン

停止中に押すとディスプレイに "RANDOM" と表示され、曲のランダム演奏を始めます。解除するには、STOP ボタンを 2 回押すか、STOP ボタンを押

してからもう 1 度 SHUFFLE ボタンを押します。ランダム演奏中に ►► ボタンを押すと次の曲がランダムに選択、演奏されます。◄◄ ボタンを押すと演奏中の曲の頭に戻ります。既にランダム演奏した曲へ戻ることはできません。  
※プログラム再生モードでは、ランダム演奏はできません。

#### ⑦ ◄◄ / ►► (曲サーチ) ボタン

演奏中に好みの部分まで早送り、早戻しします。

#### ⑧ ► / || (プレイ/一時停止) ボタン

演奏を開始、または演奏中の曲を一時停止します。

#### ⑨ ◄◄ / ►► (スキップ) ボタン

演奏中や停止中、前後の曲にスキップします。

※演奏中は、◄◄ (FB) ボタンの 1 回押しで演奏中の曲の頭に戻ります。ランダム演奏中は、複数回押ししても演奏中の曲の頭にしか戻りません。

#### ⑩ INTRO (イントロ) ボタン

イントロサーチ演奏をするボタンです。停止中にこのボタンを押してから、プレイ/ポーズ(► / ||) ボタンを押すと、各曲の冒頭を 10 秒ずつ演奏します。演奏中に押すと、10 秒以内の場合には演奏中の曲から、10 秒以降の場合には次の曲からイントロサーチ演奏します。イントロサーチ演奏中にもう 1 度押すと、その曲から通常の演奏モードに変わります。イントロサーチ中に、スキップ (◄◄ / ►►) ボタンを押すと、前後の曲にスキップします。ストップ (■) ボタンを 1 回押すとイントロサーチ演奏が止まり、2 回押すとイントロサーチモードが解除されます。

停止中に INTRO ボタンを押してから SHUFFLE ボタンを押すと、ランダムに選択された曲が 10 秒ずつ演奏されます。解除するには、ストップ (■) ボタンを 2 回押します。

#### ⑪ REPEAT A-B ボタン

このボタンを押したところから、次に押すところまでをリピート演奏します。もう 1 度押すと、REPEAT A-B モードは解除され、通常演奏に戻ります。

1/ALL、STOP、INTRO、◄◄ / ►►、テンキーを押しても解除されます。

※イントロサーチ中やランダム演奏中は、REPEAT A-B モードは選択できません。

#### ⑫ REPEAT 1/ALL ボタン

このボタンを 1 回押すと、REPEAT ALL が点灯し、ディスクの全曲が繰り返し演奏されます。停止中のときは、PLAY/PAUSE ボタンを押して、全曲リピ

ト演奏を始めてください。

このボタンを2回押すと、REPEAT ONE が点灯し、1 曲だけが繰り返し演奏されます。停止中のときは、スキップボタンで曲を選択してから PLAY/PAUSE ボタンを押すか、テンキーで曲を選択し、その曲の繰り返し演奏を始めてください。演奏中のときは、その曲が繰り返し演奏されます。他の曲を繰り返し演奏するには、スキップボタンまたはテンキーでお好みの曲を選択してください。もう一度このボタンを押すと、REPEAT 再生モードは解除されます。STOP ボタンと REPEAT A-B ボタンを押しても解除されます。

※ランダム演奏中は、REPEAT ONE は選択できません。

### ⑬ STOP ボタン (■)

演奏を停止します。

★その他のボタンは、AMP3800 で機能し、本機では機能しません。

### TIME 表示について

TIME ボタンを押すごとにディスプレイの表示が変わります。

①停止中：総トラック数と総演奏時間を表示



②再生中：演奏中の曲番号と経過時間を表示



③再生中1度押し：演奏中の曲番号と曲の残り時間を表示



④再生中2度押し：CDの残曲数と残りの総演奏時間を表示

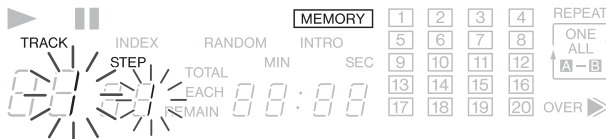


## プログラム再生

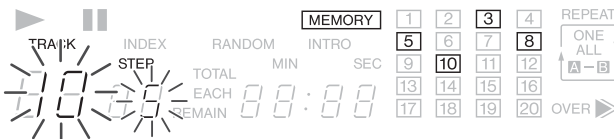
### ●メモリー登録

始めにプログラム再生する曲を登録します。リモコンを使用し、停止状態で行います。

(1) **MEMO.** ボタンを押します。ディスプレイに "MEMORY" の表示が出て "TRACK" と "STEP" の数字が点滅します。



(2) テンキーボタンを使用して希望の曲番号を押します。テンキーボタンを押すだけで自動的にメモリーに登録されます。複数の曲をメモリーに登録するにはテンキーボタンを続けて押します。登録された曲数は、ディスプレイの STEP 番号に表示されます。(5 が点滅しているときは、4 曲が登録済みです。) 登録された曲番号はミュージックカレンダーに表示されます。最大 32 曲までメモリーに登録できます。32 曲まで登録するとディスプレイに "FULL" が表示されます。



※ CDに入っている最大トラック数より大きい数値を入力すると自動的に最終トラックが選ばれます。

※ ◀◀ (FB ボタン) / ▶▶ (FF ボタン) を押して希望の曲番号を表示させ、MEMO. ボタンを押して記憶させることもできます。この場合は、希望の曲番号を表示させた後、その都度 MEMO. ボタンを押します。

(3) STOP ボタンを押して登録作業を終了します。

### ●プログラム再生

ディスプレイに "MEMORY" が表示されているときに、PLAY/PAUSE ボタン (▶ / ||) を押すと、登録された曲が順番に演奏されます。演奏中のトラック番号がミュージックカレンダー上で点滅します。

※通常の演奏に戻る場合は、停止中にもう1度 MEMO. ボタンを押し ("MEMORY" 表示が消えます)、プログラムモードを解除してから操作してください。

プログラムモードに戻すには、もう1度 MEMO. ボタンを押します。

## ●プログラムの確認、追加、修正と削除

プログラムの確認、追加、修正と削除はプログラム演奏の停止状態で行います。

### ・確認

CHECK ボタンを押すたびにディスプレイにトラック番号と曲順が表示されます。登録された最終曲番号までくると、次は「—」表示となり、もう1度押すと最初に登録した曲番に戻ります。☆ STOP ボタン (■) を押すと元



の表示に戻ります。

### ・追加

プログラムに新しい曲を追加したい場合には STOP ボタンを押し、テンキーで新しい曲番を押すと最終曲に追加できます。STOP ボタンを押して、操作を完了させます。

### ・修正

CHECK ボタンを押して修正したい曲番を出し、テンキーで新しい曲番を押すとプログラムが上書きされます。STOP ボタンを押して操作を完了させます。

### ・削除

全曲削除：CLEAR ボタンを2秒以上押し続けます。

1曲削除：CHECK ボタンで削除したい曲番を選択し CLEAR ボタンを押します。

☆複数曲を1曲ずつ削除する場合は、CHECK → CLEAR を繰り返します。

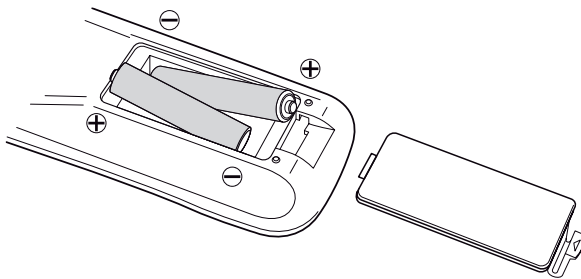
☆ CD トレイを開けたり電源を切ると、登録は全て削除されます。

## ●リモコンの使用上の注意

- ・フロントパネルのリモートセンサー部分に直射日光を当てないでください。誤動作の原因となることがあります。
- ・リモートコントロールユニットを操作するとき、送信機と本機との間に障害物があると正しく動作しません。
- ・リモートコントロールを操作するとき、リモコン送信機を本機のリモートセンサー部に向けてください。
- ・電池が消耗するとリモートコントロールは動作しません。この場合は同じタイプの新しい電池と交換してください。
- ・付属のリモートコントロールユニットは、当社製アンプなどにも共通して使用できますが、この取扱説明書では本機に関する操作だけを説明しております。

### 電池の入れ方

リモコン裏面のフタを外し、ケースの⊕と⊖表示に合わせて乾電池（単4形）2本を入れてください。



### 電池の交換時期は・・・

操作範囲が狭くなったり、操作キーを押しても動作しない場合は、2本とも新しい電池に交換してください。

### 電池についての注意



乾電池を誤って使用すると、液もれや破裂などの原因となることがあります。以下の注意をよく読んでご使用ください。

- 乾電池の⊕と⊖の向きを電池ケースに表示されている通りに正しく入れてください。
- 新しい乾電池と古い乾電池、またはアルカリ乾電池とマンガン乾電池など種類の違う電池を混ぜてご使用にならないでください。

- 乾電池は絶対に充電しないでください。
- 長期間（1ヶ月以上）リモコンを使用しないときは、液もれによってリモコンが破損することがないように、電池を取り出しておいてください。
- 万が一液もれを起こしたときは、ケース内に付着した液をよく拭き取ってから新しい電池と交換してください。

## 本機の使用で特にご注意いただきたいこと

---

- CDトレイを閉めるとき、開閉ボタンを押してからトレイが閉まり始めるまでに1秒ほどタイムラグがあります。エラーと間違えて、繰り返しボタンを押しますとボタンを押す回数によっては、トレイが開いたままになることがありますので、ご注意ください。
- CD演奏中、デジタル入力セレクターの切り替えで、他の入力ソースを選んでもCDの演奏は止まりません。CDの演奏を止める場合は、STOPボタンを押してください。
- 本機に入力した外部からのデジタル信号はD/A変換後、アナログで出力され、デジタルでは出力されません。
- 本機の性能を十分に発揮するには、周りからの振動を防止し、オーディオ専用ラックなど、質量のなるべく大きなしっかりとした台へ設置していただくことをお勧めします。

## お手入れの仕方

---

- 日常的なよごれは必ず柔らかい布でからぶきするようにしてください。からぶきで取れないよごれは薄めた中性洗剤で湿らせた布で拭き取ってください。洗剤をご使用の場合は最後に必ず水で湿らせた布で拭き取って洗剤分が残らないようにしてください。また本機をベンジン、シンナーなどの揮発油系の液体や化学ぞうきんで拭いたり、クレンザーなどや漂白剤をご使用なされることはお避けください。また近くでエアゾールタイプの殺虫剤を散布することは避けてください。



●本機の定期的な保守・点検は必要ありません。不具合の際の点検・修理は販売店または弊社サービスセンターにご依頼ください。

## 保証とアフターサービス

### 故障かな？と思ったら

本機の調子がおかしいと思ったときは、サービスをご依頼される前に以下の内容をもう一度チェックしてください。それでも正常に動作しない場合は、お買い上げの販売店または当社サービスまでご連絡ください。

症状	原因	対処法
電源スイッチを入れても反応しない	電源ケーブルの両端がしっかり接続されていない	電源ケーブルの両端を正しく接続してください
<b>CD 演奏</b>		
ディスクを入れても演奏できない	ディスクが裏返しになっている	ディスクのラベル面を上にして入れる
	ディスクがひどく汚れている	クリーニングする
音が出ない	出力コードの接続が不完全	接続を確認する
	アンプ操作を間違えている	アンプのセレクターの位置を確認する
音飛びがする	プレーヤーに振動やショックを与えている	設置場所を変える
	ディスクがひどく汚れている	クリーニングする
ハム音が出る	ピンプラグの接触不良	ピンプラグをしっかりと差し込む
チューナーにノイズが入る	本機とチューナーの設置場所が近すぎる	チューナーから離れた場所に設置するか電源を切る
リモコン操作できない	本体の電源が入っていない	POWER スイッチを押す
	リモコンに電池が入っていない	電池を入れる
	リモコンの電池が弱っている	新しい電池と交換する

※本機はマイコンを使用しておりますので、外部からの雑音やノイズ等によって正常な動作をしなくなることがあります。このような場合は POWER スイッチを押して一旦電源を切り、しばらくしてから再び電源を入れてあらためて操作してください。

## ●保証について

1. この製品には保証書を別途添付しております。保証書は、販売店で所定事項を記入してお渡しいたしますので、記載内容をご確認のうえで取扱説明書などと一緒に大切に保管してください。
2. 保証期間はご購入日より1年です。保証期間中は保証書の記載内容により、ご購入販売店または弊社が修理いたします。その他詳細につきましては保証書をご参照ください。
3. 保証期間経過後、または保証書を提示されない場合の修理などについてご不明の場合は、ご購入の販売店または当社にご相談ください。保証期間経過後、修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料にて修理いたします。
4. この製品の補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）の最低保有期間は、製造打ち切り後8年です。

## ●サービスのご依頼について

万一、故障が発生し修理を依頼される場合は、次の事項を確認し、ご購入のお店または弊社サービスセンターにご遠慮なくご相談ください。

1. 型名、型番
2. 故障の内容
3. お買い上げ年月日
4. お名前、住所、電話番号

## 主な仕様

<b>オーディオ</b>	
再生可能ディスク	一般音楽 CD, ファイナライズ済み音楽用 CD-R/RW
周波数特性	20Hz - 20kHz, +0/-0.2dB (flat)
S/N 比	RCA: -122dB, XLR: -130dB (flat)
高調波歪率	RCA: 0.018%, XLR: 0.006% (0dB, 1kHz)
チャンネルセパレーション	RCA: -105dB XLR: -112dB (1kHz)
<b>DAC</b>	
DAC	パーブラウン社製 PCM1798 × 1
デジタルフィルター	Flat/Pulse (切り替え可)
<b>出力/入力</b>	
アナログ出力	RCA (2V) × 1 XLR (4V) × 1 (2番ホット) HeadPhone 用標準ジャック (6.3mm)
デジタル出力	TOSLINK × 1 COAXIAL × 1 AES/EBU × 1
デジタル入力	TOSLINK × 1 (32 ~ 96kHz) COAXIAL × 1 (32 ~ 96kHz) AES/EBU × 1 (32 ~ 96kHz) USB × 1 (32 ~ 48kHz)
<b>一般</b>	
電源	AC100V, 50/60Hz
消費電力	18 W
外形寸法	約 435(w) × 355(d) × 102(h) mm(レッグ・端子含む)
質量	約 7 kg
付属品	AC コード (1)、リモコン (1)、単 4 形乾電池 (2)、取扱説明書 (1)、保証書 (1)
カラー	シルバー/ブラック

※仕様及び外観は改良のため予告なく変更することがあります。

※製品の改善により、取扱説明書のイラストなどが一部製品と異なる事があります。

予めご了承ください。



**CEC 株式会社** <http://www.cec-web.co.jp>

---

サービスセンター: (有)エステック修理センター

---

〒 370-0535 群馬県邑楽郡大泉町寄木戸 1316-5  
TEL: 0276-49-5036 FAX: 0276-62-8341